

Ako のプロフィール www.ako-actress.com

二年間の宝塚音楽学校を主席で通し卒業式では社長賞と優等賞を受賞、その後、宝塚歌劇団の月組で8年間「夏海陽子」と云う芸名で「オクラホマ」「ウェストサイド・ストーリー」「嵐が丘」等に出演し新人賞、歌唱賞、演技賞を受賞。その後は、テレビではレギュラー「たぬき先生奮戦記」「たぬき先生繁盛記」「別れて生きる時も」、準レギュラー「ぬかるみの女」「江戸を斬る11」ゲスト出演「水戸黄門」「江戸を斬る」「破れ傘刀舟」「破れ奉行」等、舞台は「大川橋蔵公演」「高橋英樹公演」「美空ひばり公演」「里見浩太郎公演」「中村鴈治郎公演」等に出演する傍ら、藤間宗家の師範名執り「藤間公紫」として歌舞伎等の振り付け助手も務める。

NHKの軽音楽コンクールに入賞し「昼のメロディー」に出演。

1981年にニューヨークへ渡り、リー・ストラスバーグ演劇学校に入学。

1985年に「C級横浜裁判」のオーディションに受かり芸名を「AKO」として、アメリカでの演劇活動が始る。映画は「ヒマラヤ杉に降る雪」「ノー・リザベーション」「スリープ・ウォーク」「大統領のクリスマスツリー」「I Origin」等、舞台はオレゴン・シェイクスピア・フェスティバルに三年在籍し2010年に黒澤明監督の「蜘蛛の巣城」を英語版にリメイクした「Throne of the Blood」で主役の浅茅を演じる。その他ミュージカルは「さよなら」「ミカド・インク」「タマー・オヴ・ザ・リヴァー」プレイは「ゴッド・セッド・デイス（ルシル・ローテル主演女優賞ノミネーション）」「ケンタッキー」「ジュリアス・シーザー」「M・バタフライ」「八月十五夜の茶屋」「こころ」「ティー」「クラスCトライアル・イン・ヨコハマ」「スリーピング・ビューティー」等、テレビは「30ロック」BBC「プリズナーズ・イン・タイム」「マーシー」等に出演。

「タマー・オヴ・ザ・リヴァー」はCDとしても発売。又、オーディブル・ドットコムの子話の日本語版の朗読も務める。2019年夏にはニューヨークのオフ・ブロードウェイのMCC劇場でハリー・ファイファー作、トリップ・カルマン演出の「モスコー、モスコー、モスコー、モスコー、モスコー、モスコー、」に出演する。

1999年に劇場デザインプランナーのジョシュア・ダックス氏 www.dfa-online.com と結婚。現在ニューヨーク・マンハッタンのトライベッカ在住。

2018年にNPOの日米両語の劇団「Amaterasu Za」 www.amaterasuza.org をニューヨークで設立、芸術監督を務める。